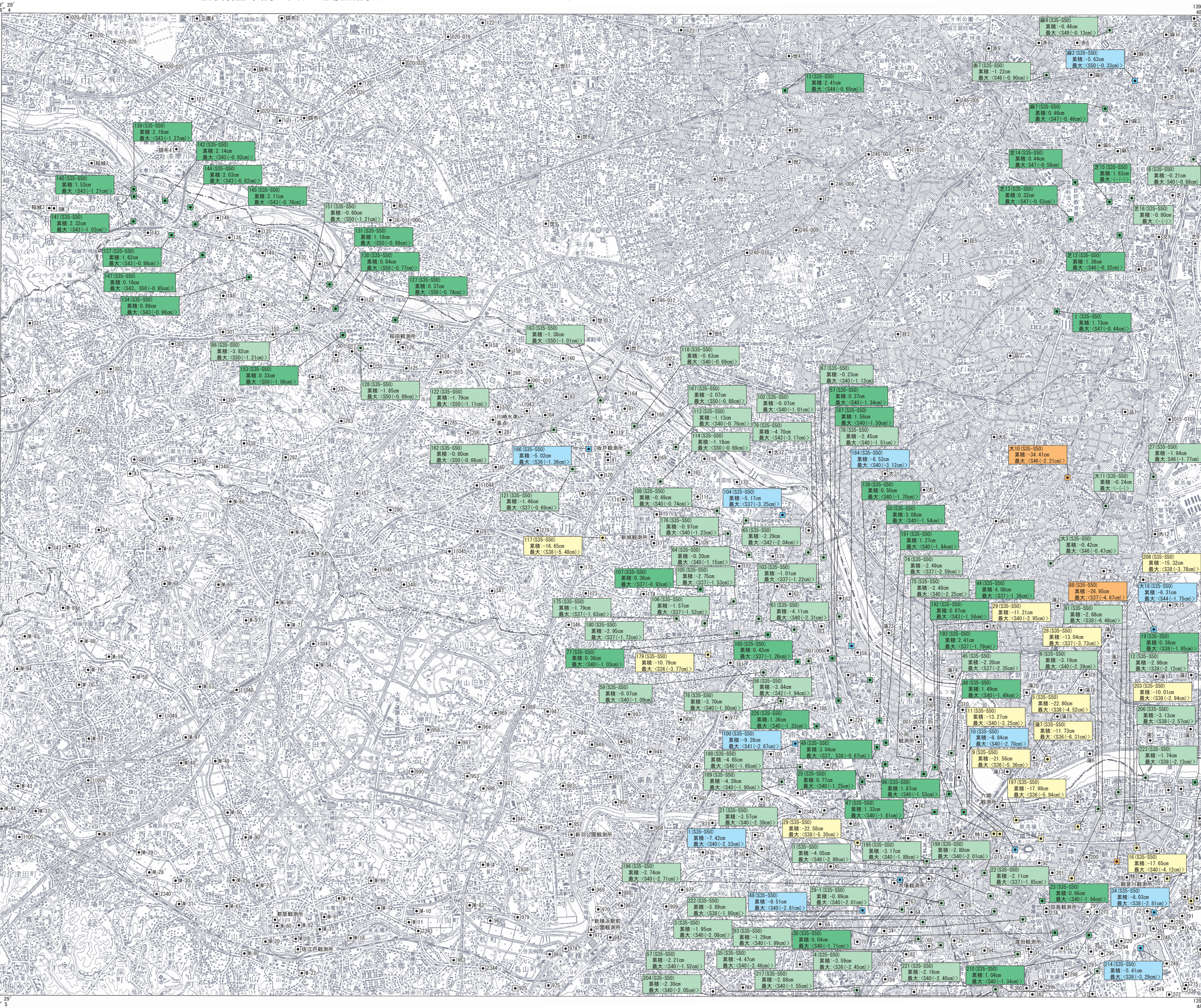




凡 例

1. 地盤沈下

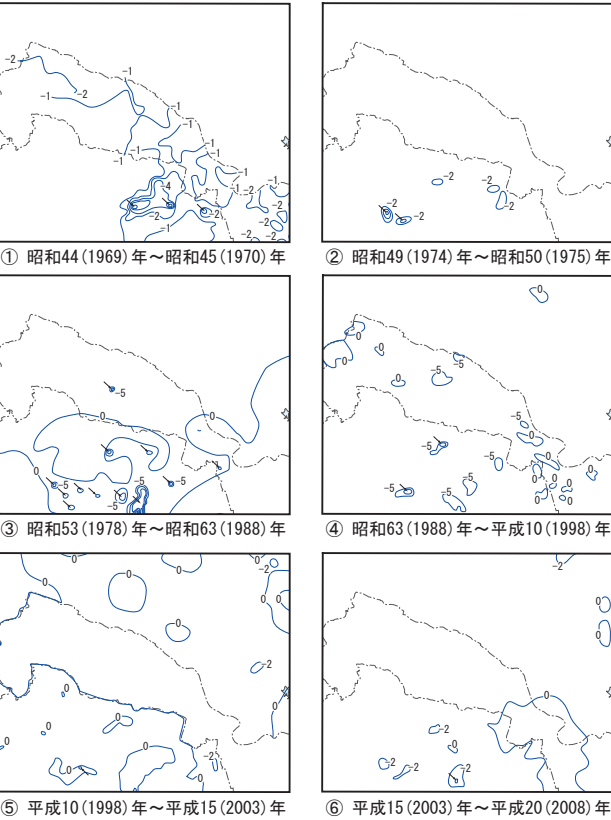
①(②) ①水準点・水準基準番号
②集計期間
③集計期間の累積沈下量(単位:cm)
④集計期間の最大沈下年
⑤集計期間の最大沈下量(単位:cm)

■ 集計対象外とした水準点
・ 水準基準
—— 水準点・水準基準管理
界 界

【資料】
神奈川県・横浜市・川崎市(1965) 京浜地帯地盤沈下調査報告書, 神奈川県
神奈川県・横浜市・川崎市(1970) 京浜地帯地盤沈下調査報告書, 第二次
調査資料集, 神奈川県
神奈川県(1976) 京浜地帯地盤沈下調査報告書, 第三次報告書(昭和47年
度～昭和49年度)
神奈川県(2009) 地盤沈下等量線図
東京都土木技術研究所(1960～1975) 水準基準測量成果表(昭和34年度～
昭和49年度)
東京都土木技術支援・人材育成センター(2010) 東京都公共基準点・水
準基準配置図, 第4版

【注】
集計期間中に移転・改埋があった水準点・水準基準および集計開始年に
観測がされていないなかった水準点・水準基準は集計対象外とした。
水準点・水準基準位置は現在の配点図を用いた。
川崎市の改埋履歴を示す水準点名のアルファベットは非表示とした。
現在の配点図にない水準点・水準基準は削除した。
集計期間中にデータ欠損があった地点の最大沈下量及び沈下年は○をつ
けて表示した。

累積地盤沈下量図 (cm)



【資料】
関東地区地盤沈下調査測量協議会(1970) 地盤沈下等量線図, 自昭和44年2月1日至昭和45年2月1日。
同協議会(1975) 地盤沈下等量線図, 自昭和49年1月1日至昭和50年1月1日。
同協議会(1986) 累積地盤沈下量図, 自昭和63年1月1日至昭和65年1月1日。
同協議会(2000) 累積地盤沈下量図, 自昭和63年1月1日至平成10年1月1日。
同協議会(2003) 累積地盤沈下量図, 平成10年1月1日至平成15年1月1日, 日本地図センター。
同協議会(2008) 累積地盤沈下量図, 平成15年1月1日至平成20年1月1日, 日本地図センター。

摘 要

- 経緯度の基準は世界測地系
- 投影はユニバーサル横メルカトル図法、
座標帯は第54帯、中央子午線は東経141°
- 作業機関 東京カートグラフィック株式会社
- 背景地図 数値地図50000(地図画像)平成7年修正
- 対応する二次メッシュコード 533924,533925,533934,533935

行政区画



- 東京都
府中市 2. 稲城市 3. 調布市 4. 三鷹市
5. 狛江市 6. 世田谷区 7. 杉並区 8. 渋谷区
9. 目黒区 10. 港区 11. 品川区 12. 大田区
13. 町田市
神奈川県
14. 川崎市 15. 横浜市

「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、
数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用した。
(承認番号 平成22業使、第703号)」